

ZENworks Adaptive Agent ガイド

Novell[®] ZENworks 10 Configuration Management SP3

10.3

2010 年 3 月 30 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページを参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell Documentation の Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。

目次

このガイドについて	7
1 概要	9
2 ステータス	11
2.1 エージェントのステータスの表示	11
2.2 キーを使用した登録	12
3 ポリシー	13
3.1 ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシー	13
3.2 ポリシーの表示	13
4 バンドル	15
4.1 バンドルとアプリケーション	15
4.2 ユーザ割り当てバンドルとデバイス割り当てバンドル	15
4.3 バンドルへのアクセス	16
4.3.1 ZENworks Window	16
4.3.2 ZENworks Explorer	17
4.3.3 ZENworks Icon	17
4.4 バンドルアイコンの理解	18
4.5 バンドルの起動	19
4.6 バンドルダウンロードの延期	20
4.7 バンドルの検証	20
4.8 バンドルのプロパティの表示	20
4.9 バンドルのアンインストール	21
5 インベントリ	23
5.1 インベントリ情報の使用目的	23
5.2 デバイスのスキャン	23
5.3 インベントリ情報の表示	24
5.4 コレクションデータフォームの完了	24
6 リモート管理	25
6.1 リモート管理操作	25
6.2 リモート管理セッションの要求	25
6.3 現在接続済みのリモート操作の表示	26
6.4 リモート管理ポリシーの表示	26
6.5 セキュリティ設定の使用	27
7 ロギング	29
7.1 メッセージログレベルの変更	29
7.2 メッセージログファイルのクリア	30

7.3	メッセージログファイルの表示	30
7.4	バックアップログファイルのアクセス	31
8	サテライトの役割	33
8.1	一般的なサテライトの役割情報	33
8.2	認証	34
8.3	イメージング	35
8.4	コレクション	35
8.5	コンテンツ	36
8.5.1	配布元情報の表示	36
8.5.2	最近のアクセス履歴のエクスポート	37
8.5.3	最近のアクセス履歴の消去	38
9	Windows プロキシ	39
9.1	検出結果の表示	39
9.2	展開結果の表示	40
10	ZENworks 用語集	41

このガイドについて

このガイドでは、Novell ZENworks 10 Configuration Management SP3 のコンポーネントである Novell® ZENworks® Adaptive Agent について説明します。ZENworks とその他の Novell 製品の詳細は、[www.novell.com \(http://www.novell.com/products/zenworks\)](http://www.novell.com/products/zenworks) を参照してください。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 11 ページの第 2 章「ステータス」
- ◆ 13 ページの第 3 章「ポリシー」
- ◆ 15 ページの第 4 章「バンドル」
- ◆ 23 ページの第 5 章「インベントリ」
- ◆ 25 ページの第 6 章「リモート管理」
- ◆ 29 ページの第 7 章「ロギング」
- ◆ 33 ページの第 8 章「サテライトの役割」
- ◆ 39 ページの第 9 章「Windows プロキシ」
- ◆ 41 ページの第 10 章「ZENworks 用語集」

対象読者

このガイドは、ZENworks 10 Configuration Management のエンドユーザ (デバイス上で ZENworks Adaptive Agent を使用しているユーザ) を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

その他のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品情報を取得したり、製品を実装する際に参照できる他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。その他のマニュアルについては、『[ZENworks 10 Configuration Management マニュアル \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (/) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux、UNIX など、スラッシュを使う必要があるプラットフォームを使用しているユーザは、必要に応じてスラッシュを使用してください。

概要

1

ZENworks[®] Adaptive Agent は、Novell[®] ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェアのコンポーネントであり、管理者によるネットワークを介した**デバイス**の管理を可能にします。ZENworks Adaptive Agent は通常は Adaptive Agent と呼ばれ、管理者がデバイスのある場所まで出向かずに次のようなことを実行できるよう支援します。

- ◆ デバイスの行動を決定するポリシーを管理する。
- ◆ ソフトウェア、パッチ、その他のファイルをデバイスに配信する。
- ◆ デバイスのハードウェアとソフトウェアのインベントリを取得する。
- ◆ リモートの場所からデバイスにアクセスしてトラブルシューティングし、ハードウェアとソフトウェアの問題を修復する。

管理者は、次の用途にユーザデバイスを使用することもできます。

- ◆ **サテライト**。特定の ZENworks プライマリサーバの役割を実行し、ZENworks システム内の WAN トラフィックを最小化します。これらの役割には、**認証**、**コレクション**、**コンテンツ**、**イメージング**があります。
- ◆ **Windows プロキシ**。Windows ベースで、ZENworks Linux プライマリサーバでは実行できないディスクバリエーションおよび展開タスクを実行します。

各サービスは、Adaptive Agent のプラグインモジュールを使用することで提供されます。Adaptive Agent に含まれるデフォルトモジュールは、**ポリシー**、**バンドル**、**インベントリ**、**リモート管理**、**Windows プロキシ**、および**サテライト**です。

管理者により実装されるサービスによっては、これらの内の 1 つまたは複数のモジュールが、デバイス上でアクティブでないことがあります。たとえば、管理者がリモートからワークステーションにアクセスするつもりがない場合は、リモート管理モジュールがインストールされないことがあります。その場合は、デバイスの ZENworks Adaptive Agent ページに [リモート管理] タブが表示されません。

デバイスでアクティブになっているモジュールを参照するには、**11 ページの第 2 章「ステータス」**を参照してください。


ステータス

ZENworks® Adaptive Agent には、ZENworks サーバに最後に接続した時間や、Agent モジュールが実行中であるかどうかなどのステータス情報が表示されます。

詳細情報については、次を参照してください。

- [11 ページのセクション 2.1 「エージェントのステータスの表示」](#)
- [12 ページのセクション 2.2 「キーを使用した登録」](#)

2.1 エージェントのステータスの表示


- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ステータス] をクリックします。

【ステータス】フィールド	説明
デバイスアドレス	デバイスの IP アドレスです。
デバイス名	デバイスのコンピュータ名。
デバイス状態	デバイスの状態：管理対象、非管理対象、リタイヤ、または不明の状態。不明は、エラーがある場合のみ表示されます。
前回のサーバとの接続	Adaptive Agent が、[サーバDNS] フィールドに一覧されている ZENworks サーバに前回接続した時間です。
次回のサーバとの接続	Adaptive Agent が次に ZENworks サーバに接続するようにスケジュールされている時間です。
プライマリユーザ	デバイスを最も頻繁に使用するユーザです。頻度は、ログインの数、ログインしている時間数、または指定されているユーザによって決定されます。プライマリユーザの計算に使用する方法は管理者が決定します。
ZENworks Adaptive Agent バージョン	ZENworks Adaptive Agent のバージョンです。
管理ゾーン	デバイスがある場所の ZENworks® 管理ゾーンの名前です。
サーバDNS	デバイスの Adaptive Agent が ZENworks のコンテンツと情報を送受信するために通信する ZENworks サーバの DNS 名。
サーバアドレス	[サーバDNS] フィールドに一覧表示される ZENworks サーバの IP アドレスです。
登録キー	デバイスを管理ゾーンに登録する際に入力する英数文字列です。登録キーは管理者が定義し、バンドルとポリシーの割り当てを判断するのに役立ちます。
エージェントステータス	Agent モジュールのステータスとバージョンです。

2.2 キーを使用した登録

デバイス[®]は、ZENworks[®] Configuration Management で管理するために、管理ゾーン内に登録する必要があります。このプロセスを容易にするために、管理者は登録キーを作成できます。登録キーは英数字の文字列です。そのキーに関連付けられたバンドルおよびポリシーが自動的に割り当てられるように、デバイスの登録中に、ZENworks Adaptive Agent にオプションで入力します。

管理者は、キーをユーザに与え、ユーザのデバイスを登録 (または再登録) するように依頼することができます。手順は次のとおりです。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ステータス] をクリックします。
- 3 [登録キー] フィールドで、登録キーを入力してから、[登録] をクリックします。

Adaptive Agent は、入力したキーを使用してデバイスを登録します。

登録キーは累積されます。つまり、複数のキーと一緒に登録すると、デバイスはその個々のキーと関連付けられたバンドル、ポリシー、およびグループ割り当てを受信します。登録に使用される各キーは、将来参照するためにリストに追加されます。

別のキーで管理ゾーンに登録済みのデバイスに登録キーを追加し、両方のキーがそのデバイスのフォルダを指定している場合、デバイスは新しいキーが指定するフォルダには移動されません。

デバイスを別のフォルダに移動するには、ZCC で [デバイス] タブをクリックし、[サーバ] または [ワークステーション] をクリックし、移動するデバイスの横のチェックボックスをオンにして、[編集]、[移動] の順にクリックして目的のフォルダをクリックし、[OK] をクリックします。ZCC を使用してデバイスを移動する場合、デバイスの既存の割り当ては維持されます。デバイスの登録を取り消してから登録することもできますが、既存の割り当ては削除されます。

ポリシー

ZENworks® Adaptive Agent は、管理者が定義するポリシーを適用します。ポリシーは、ハードウェアとソフトウェアの設定範囲を制御するルールです。たとえば、管理者は、使用できる機能、ブラウザで使用可能なブックマーク、アクセスできるプリンタ、およびデバイスのセキュリティとシステム設定を制御するポリシーを作成できます。


管理者によって適用されたポリシーをユーザが変更することはできませんが、ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシーの違い、および適用されているポリシーの確認方法を理解しておくで役立ちます。

詳細情報については、次を参照してください。

- 13 ページのセクション 3.1 「ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシー」
- 13 ページのセクション 3.2 「ポリシーの表示」

3.1 ユーザ割り当てポリシーとデバイス割り当てポリシー


ポリシーは、ユーザに割り当てられるか、ユーザのデバイスに割り当てられます。ユーザに割り当てられるポリシーは、ユーザ割り当てポリシーと呼ばれ、デバイスに割り当てられたポリシーは、デバイス割り当てポリシーと呼ばれます。

ZENworks Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合にのみ、ユーザ割り当てポリシーを適用します。ログインしていない場合は、ZENworks Configuration Management ログイン画面でログインできます。ログインするには、通知領域にある  アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします

Adaptive Agent は、ログインしているかどうかにかかわらず常にデバイス割り当てポリシーを適用します。したがって、デバイス割り当てポリシーはデバイスのすべてのユーザに適用されます。

3.2 ポリシーの表示

ユーザおよびデバイスに割り当てられたポリシーを削除するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[ポリシー] をクリックします。

あるデバイスに関してユーザ関連ポリシーとデバイス関連ポリシーが両方とも有効な場合は、[ポリシー競合の解決] の設定に従って優先されるポリシーのみがそのデバイスに適用されます。ただし、ZENworks Adaptive Agent のアイコンには、両方のポリシーの [有効] ステータスが [成功] と表示されます。

ユーザ管理エージェント機能が ZENworks コントロールセンターで無効化またはアンインストールされている場合 ([ZENworks エージェント] ページの [エージェント機能] パネル)、ZENworks Adaptive Agent ポリシーのページの DLU ポリシーのステータスは、ポリシーがデバイスで有効でない場合でも、「成功」と表示されます。

バンドル

ソフトウェアアプリケーションとその他のファイルは、バンドルとして**デバイス**に配布されます。バンドルには、デバイスにソフトウェアをインストールするために必要なすべてのコンテンツ(ファイルなど)および指示(レジストリ変更、ショートカット情報など)が含まれます。

詳細情報については、次を参照してください。

- ◆ 15 ページのセクション 4.1 「バンドルとアプリケーション」
- ◆ 15 ページのセクション 4.2 「ユーザ割り当てバンドルとデバイス割り当てバンドル」
- ◆ 16 ページのセクション 4.3 「バンドルへのアクセス」
- ◆ 18 ページのセクション 4.4 「バンドルアイコンの理解」
- ◆ 19 ページのセクション 4.5 「バンドルの起動」
- ◆ 20 ページのセクション 4.6 「バンドルダウンロードの延期」
- ◆ 20 ページのセクション 4.7 「バンドルの検証」
- ◆ 20 ページのセクション 4.8 「バンドルのプロパティの表示」
- ◆ 21 ページのセクション 4.9 「バンドルのアンインストール」


4.1 バンドルとアプリケーション

バンドルは、**デバイス**にすでにある Windows* メモ帳などの標準アプリケーションとは異なります。バンドルをダブルクリックして起動すると、ZENworks® Adaptive Agent は、アプリケーションファイルのインストール、スクリプトの実行、デバイスレジストリ、特定の INI ファイル、または環境変数の変更など、アプリケーションを起動する前に、まず最初にさまざまな配布タスクを完了することがあります。これらのタスクは、デバイス上でアプリケーションが正常に動作するようにすべて管理者によって設定されます。

バンドルのアイコンが淡色表示またはグレー表示になることがあります。これは、管理者がアプリケーションに定義した要件をデバイスが満たしていないか、バンドルがその時点で使用可能なようにスケジュールされていないことを示します。Adaptive Agent は、要件が満たされるか、スケジュールが適切になるまでは、アプリケーションをデバイスに配布しません。

4.2 ユーザ割り当てバンドルとデバイス割り当てバンドル

デバイスに表示されるバンドルは、ユーザに割り当てられるか、ユーザの**デバイス**に割り当てられます。ユーザに割り当てられるバンドルは、ユーザ割り当てバンドルと呼ばれ、**デバイス**に割り当てられたバンドルは、**デバイス**割り当てバンドルと呼ばれます。

Zenworks Adaptive Agent は、ユーザディレクトリ (Microsoft* Active Directory* または Novell® eDirectory™) にログインしている場合のみ、ユーザ割り当てバンドルを表示します。ログインしていない場合は、ZENworks Configuration Management ログイン画面でログインできます。ログインするには、通知領域にある  アイコンを右クリックしてから、[ログイン] をクリックします

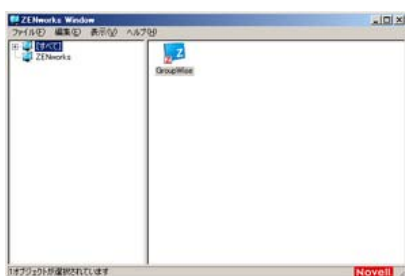
デバイス割り当てバンドルは、ログインしているかどうかにかかわらず常に表示されます。デバイス割り当てバンドルは、デバイスを使用するユーザなら誰でも起動できます。

4.3 バンドルへのアクセス

ZENworks[®] Adaptive Agent では、割り当てられているバンドルにアクセスするための ZENworks Window、ZENworks Explorer、および ZENworks Icon という 3 つの方法を提供しています。

4.3.1 ZENworks Window

Zenworks Window は、[スタート] メニューから起動できるスタンドアロンのウィンドウです ([スタート] メニュー > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [Zenworks Application Window])。



[ZENworks Window] の左ペインには、次の項目が表示されます。

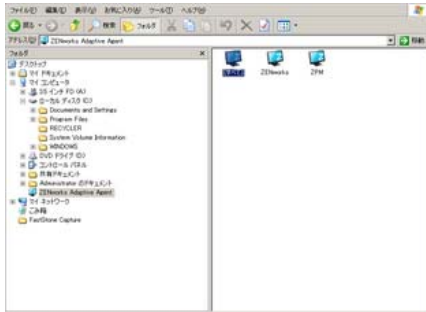
- ◆ **[すべて] フォルダ** : バンドルが配置されているフォルダにかかわらず、配布されているバンドルすべてが表示されます。
- ◆ **[ZENworks] フォルダ** : 別のフォルダに割り当てられていないバンドルすべてが表示されます。バンドルのデフォルトフォルダは [ZENworks] フォルダです。ただし、管理者はバンドルを整理するために追加フォルダを作成したり、ZENworks フォルダを名前変更したりすることもできます。

左ペインでフォルダを選択すると、右ペインにフォルダ内に含まれるバンドルが表示されます。次の操作を行うことができます。

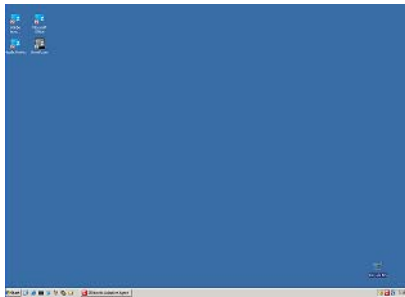
- ◆ バンドルをインストールするか、すでにインストールされているバンドルのアプリケーションを起動する。
- ◆ バンドルのプロパティを表示する。プロパティには、バンドルの説明、バンドルのヘルプ担当者についての情報、バンドルを使用できる時間、バンドルに設定されたシステム要件などが含まれます。
- ◆ インストールしたアプリケーションを修復する。
- ◆ アプリケーションをアンインストールする。これは管理者が制御する機能で、有効になっていない場合もあります。

4.3.2 ZENworks Explorer

ZENworks Explorer は、Windows* エクスプローラ用の拡張機能で、Windows エクスプローラ、デスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、および通知領域にバンドルを表示できるようになります。次の図は、Windows エクスプローラに表示されるバンドルを示しています。



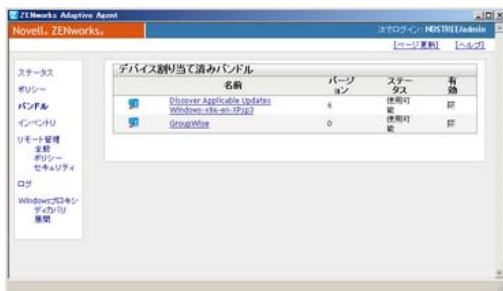
次の図は、デスクトップに表示されるバンドルを示しています。



ZENworks Explorer でも、[Zenworks Window] と同じタスクをバンドルに対して実行できます。

4.3.3 ZENworks Icon


ZENworks Icon は、Windows 通知領域にあります。アイコンをダブルクリックすると、ZENworks Adaptive Agent のプロパティを表示できます。左のナビゲーションペインにある [バンドル] リンクをクリックすると、ユーザおよびユーザのデバイスに割り当てられたバンドルを表示できます。



バンドルリストには、次の情報が表示されます。



- ◆ **名前**：バンドルの名前が表示されます。名前をクリックすると、バージョン、フォルダとアイコンの場所、ヘルプ連絡先、およびタイムスケジュールなど、バンドルのプロパティを表示できます。ZENworks コントロールセンターにおけるバンドルについてのスケジュールの環境設定に基づき、タイムスケジュールは次のようになります。

タイムスケジュール	詳細
スケジュールなし / デフォルト	スケジュールはバンドルに環境設定されません
特定のイベント	ユーザログイン、ユーザログアウト、またはデバイスのブートなど、特定のイベントがトリガされる場合、スケジュールされたアクションを実行します
相対	デバイスがリフレッシュされるときから、指定の日数、時間、分に対してスケジュールされたアクションを実行します
毎日	指定時間にスケジュールされたアクションを毎日実行します
週	指定の曜日にスケジュールされたアクションを実行します
月	月の指定の日にスケジュールされたアクションを実行します
年	年の指定の日にスケジュールされたアクションを実行します
特定の日付と時刻	スケジュールされたアクションを指定された日時に 1 回実行します
特定の時間間隔	開始時刻から、xxxヶ月、週間、日、時間、または分、あるいはそのいくつかの間隔でスケジュールされたアクションを繰り返し実行します
リフレッシュ時	デバイスのリフレッシュ時にスケジュールされたアクションを実行します
常時	スケジュールされたアクションは常時アクティブです
特定の日付	特定の日付にスケジュールされたアクションを実行します
曜日の範囲	特定の時間間隔でスケジュールされたアクションを実行します

- ◆ **ステータス**：バンドルのインストールステータスが表示されます。
- ◆ **有効**：バンドルがデバイスで使用できるかどうかを表示します。[有効] ボックスがオンになっている場合、バンドルはすべてのシステム要件と使用されるスケジュール制約を満たしています。バンドルアイコン  をクリックして、バンドルを起動できます。

このボックスが選択されていない場合、バンドルは使用できません。理由を確認するには、バンドル名をクリックして、システム要件とスケジュールのプロパティを表示します。

4.4 バンドルアイコンの理解

バンドルアイコンは、バンドルの現在のステータスを反映して変更されます。次の表は、デフォルトのライトブルーのバックグラウンドアイコンを使用するバンドルアイコンを示しています。管理者が異なるバックグラウンドアイコンを使用することを選択する可能性もありますが、 および  などのステータスアイコンは同じです。

アイコン ステータス



使用可能。バンドルを起動できます。



使用不可。バンドルを起動できません。**デバイス**がバンドルに設定されたシステム要件を満たしていないか、バンドルが現在使用できるようにスケジュールされていません。



ダウンロード中。バンドルが保存されているネットワークの場所からバンドルをダウンロード中です。



インストール中。バンドルをデバイスにインストール中です。



稼働中。バンドルは現在稼働中です。



アンインストール中。バンドルをデバイスから削除中です。



インストールされていません。バンドルをインストールできませんでした。アイコンを右クリックして、**[検証]** をクリックしてバンドルを修復します。


4.5 バンドルの起動

デフォルトでは、ZENworks[®] Adaptive Agent は、最初にバンドルを起動するまで、バンドルを**デバイス**に配布 (ダウンロードおよびインストール) しません。配布プロセスには、バンドルのファイルのインストール、スクリプトの実行、デバイスのレジストリ、特定の INI ファイル、または環境変数の変更が含まれることがあります。また、ローカルデバイスやネットワークサーバ上にアプリケーションの実行可能ファイルへのショートカットが作成されるだけの場合もあります。

バンドルを起動するには、次の手順に従います。

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window] の順にクリックします。

ZENworks Explorer: Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンをダブルクリックします。

MSI のインストールまたはネットワーク MSI のインストールのアクションがバンドルに含まれている場合は、デバイス上でバンドルを起動する際、パスワードの入力を促されることがあります。バンドルを起動するには、パスワードが設定されているユーザアカウントを使用して、デバイスにログインする必要があります。


4.6 バンドルダウンロードの延期

バンドルの起動後に、ダウンロードが始まってからダウンロードを停止する必要がある場合は、ダウンロードを後に延期できます。ダウンロードを再開する場合は、以前に停止した時点から続行されます。

バンドルダウンロードを延期するには、次の手順に従います。

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window] の順にクリックします。

ZENworks Explorer: Windows エクスプローラを開き、 ZENworks[®] Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[延期] をクリックします。


4.7 バンドルの検証

インストール済みアプリケーションが正常に機能していないか、最新の状態でないと思われる場合は、アプリケーションのバンドル情報が正しいかどうかを検証できます。正しくない場合は、ZENworks Adaptive Agent はバンドルをワークステーションに再インストールします。

バンドルを検証するには、次の手順に従います。

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window] の順にクリックします。

ZENworks Explorer: Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks[®] Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[検証] をクリックします。


4.8 バンドルのプロパティの表示

バンドルのプロパティを表示して、バージョン番号、現在のインストール状態、およびヘルプ連絡先を確認できます。さらに、バンドルが使用できない場合は、システム要件またはスケジュール制約が原因で使用できないのかどうかを確認できます。

バンドルのプロパティを表示するには、次の手順に従います。

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window] の順にクリックします。

ZENworks Explorer: Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

4.9 バンドルのアンインストール

アンインストールは、管理者が制御する機能です。デフォルトでは、アンインストールは有効になっていません。したがって、ユーザがバンドルをアンインストールできるのは、管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。アンインストールはバンドル単位ベースで有効になります。管理者が有効にしている設定に応じて、アンインストールできるバンドルとアンインストールできないバンドルがあります。


バンドルをアンインストールすると、ZENworks® Adaptive Agent はデバイスからすべてのファイルを削除し、バンドルのインストール中にデバイスに行った設定すべてを元に戻します。削除されるのは、Adaptive Agent によってそのバンドル専用インストールされたファイルのみです。たとえば、共有ファイル (別のアプリケーションも使用しているファイル) またはユーザが作成したファイル (ワープロ文書やスプレッドシートなど) は削除されません。

バンドルをアンインストールした後も、バンドルのアイコンはデバイスに表示されたままです。このアイコンを使って、必要に応じてバンドルを再インストールすることができます。

バンドルをアンインストールするには、次の手順に従います。

- 1 次の場所のいずれかにあるバンドルにアクセスします。

[ZENworks Window] : [スタート] メニューから、[プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window] の順にクリックします。

ZENworks Explorer: Windows* エクスプローラを開き、 ZENworks® Adaptive Agent エントリを探します。ZENworks 管理者のバンドル設定方法によっては、バンドルアイコンはデスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、または通知領域にも表示されます。

- 2 バンドルアイコンを右クリックして、[アンインストール] をクリックします。

インベントリ

ZENworks® Adaptive Agent によって、ソフトウェアとハードウェアの情報についてデバイスがスキャンされます。この情報は、ユーザおよびユーザの管理者のどちらも参照可能です。

詳細情報については、次を参照してください。

- 23 ページのセクション 5.1 「インベントリ情報の使用目的」
- 23 ページのセクション 5.2 「デバイスのスキャン」
- 24 ページのセクション 5.3 「インベントリ情報の表示」
- 24 ページのセクション 5.4 「コレクションデータフォームの完了」

5.1 インベントリ情報の使用目的

デバイスから取得されたソフトウェアとハードウェアのインベントリは、さまざまな方法で使用できます。たとえば、管理者がハードウェア情報を使用して、ユーザが必要なデバイスがシステム要件を満たしているかどうかを確認できます。または、このソフトウェア情報を使って、企業のソフトウェア標準への遵守を検証することもできます。


インベントリ情報を使用すると、アセットタグ番号、IP アドレス、合計メモリ、およびディスク空き容量などのデバイスの詳細を素早く検索できます。ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェアの詳細を表示できます。また、インストール済みホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品のバージョン番号と場所などのソフトウェアの詳細も表示できます。

5.2 デバイスのスキャン

管理者がインベントリスキャンスケジュールを無効にしていない限り、ZENworks® Adaptive Agent はデバイスに対して定期的にインベントリスキャンを実行します。スケジュールを決定するのは管理者です。デフォルトのスケジュールは、毎月初日です。

また、管理者がユーザによるインベントリスキャン機能を無効にしていなければ、ユーザもデバイスに対してインベントリスキャンを開始できます。

スキャンを開始するには、次の手順に従います。


- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [今からスキャンします] をクリックします。

スキャンが実行中であることを示すインジケータのようなものは表示されません。ただし、[インベントリ] ページを更新するとき、[最後にスキャンした日付] フィールドに現在の日時が表示された場合、スキャンが実行されたということがわかります。[インベントリ詳細の表示] をクリックして、スキャンの結果を確認できます。

5.3 インベントリ情報の表示


インベントリ情報を使用して、アセットタグ番号、IP アドレス、合計メモリ、およびディスク空き容量などの**デバイス**の詳細を素早く検索できます。ハードドライブ、ディスクドライブ、ビデオカードの製造元やモデルなどのハードウェア詳細を表示できます。また、インストール済みホットフィックスとパッチ、およびインストール済みソフトウェア製品のバージョン番号と場所などのソフトウェアの詳細も表示できます。

インベントリ情報を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[インベントリ] をクリックします。
- 3 [インベントリ詳細の表示] をクリックします。

5.4 コレクションデータフォームの完了

デバイスのスケジュール定期スキャンに加えて、管理者は、コレクションデータフォームを作成して、追加情報をユーザから収集できます。データフォームで要求する情報は、管理者が決定します。

コレクションデータフォームは、デスクトップ上のダイアログボックスとして表示され、フォームを送信するまで表示されたままになります。さらに、管理者は、通知領域で  アイコンを右クリックするとオプションとしてフォームが表示されるように ZENworks[®] Adaptive Agent を設定することもできます。この場合は、オプションは送信後も表示されたままになります。このオプションを使用して、要求された情報が変更された場合にフォームを再送信できます。

リモート管理

ZENworks[®] Adaptive Agent では、リモートの場所から **デバイス** を管理できます。これによって、管理者またはヘルプデスク担当者は、デバイスにリモートでアクセスまたは制御して、デバイスの問題を解決できます。

注: デバイスがリモートデスクトップ接続で接続されている場合は、ターミナルセッションのリモート管理がサポートされないため、**[リモート管理]** タブは、デバイスの ZENworks Adaptive Agent ページに表示されません。

詳細情報については、次を参照してください。

- ◆ [25 ページのセクション 6.1 「リモート管理操作」](#)
- ◆ [25 ページのセクション 6.2 「リモート管理セッションの要求」](#)
- ◆ [26 ページのセクション 6.3 「現在接続済みのリモート操作の表示」](#)
- ◆ [26 ページのセクション 6.4 「リモート管理ポリシーの表示」](#)
- ◆ [27 ページのセクション 6.5 「セキュリティ設定の使用」](#)

6.1 リモート管理操作

ZENworks[®] Adaptive Agent は、次のリモート管理操作をサポートします。


- ◆ **リモートコントロール:** リモートオペレータ (管理者またはヘルプデスクオペレータなど) が **デバイス** を制御できるようにします。
- ◆ **リモートビュー:** リモートオペレータがデバイスを表示できるようにします。これは表示専用モードです。オペレータは、デバイスに対していかなる操作もできません。
- ◆ **リモート診断:** リモートオペレータが、診断のために特定の管理ツール (レジストリエディタ、コンピュータ管理、サービスなど) を実行できるようにします。
- ◆ **ファイル転送:** リモートオペレータが、デバイスとの間でファイルを転送できるようにします。
- ◆ **リモート実行:** リモートオペレータがデバイスで実行可能ファイルを実行できるようにします。

デバイスに対して実行できる操作は、管理者が有効にしている操作によって異なります。使用可能な操作を表示する方法の詳細については、[リモート管理ポリシーの表示](#) を参照してください。

6.2 リモート管理セッションの要求

状況によっては、リモートオペレータによるリモート管理セッションを要求する場合や、リモートオペレータからセッションの開始を要求される場合があります。

セッションを要求するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。


- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探して、[一般] をクリックします。
- 3 [リモート管理セッションの要求] をクリックして、[セッションの要求] ダイアログボックスを表示します。

状況によっては、リモートオペレータによるリモート管理セッションを要求する場合や、リモートオペレータからセッションの開始を要求される場合があります。[リモート管理セッションを要求] オプションがリンクテキストとして表示されない場合、オプションは無効です。
- 4 [リモート操作のリスニング] リストで、リモートオペレータを選択してリモートセッションを開きます。

または

求めるリモートオペレータが表示されていない場合、[接続要求] フィールドにオペレータの接続情報を入力します。
- 5 [操作] フィールドで、開く操作のタイプ(リモートコントロール、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、またはリモート実行)を選択します。各操作の詳細については、[リモート管理操作](#)を参照してください。
- 6 [要求] をクリックして、セッションを起動します。

6.3 現在接続済みのリモート操作の表示


- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探して、[一般] をクリックします。
- 3 [接続されたリモートオペレータのリスト] をクリックして、[オペレータの要求] ダイアログボックスを表示します。

接続済みリモートオペレータを表示する機能は、管理者が制御しています。[接続されたリモートオペレータのリスト] オプションがリンクテキストとして表示されない場合、オプションは無効です。

6.4 リモート管理ポリシーの表示

デバイスで有効なリモート管理操作、およびその操作に適用される設定は、管理者がリモート管理ポリシーを使用して制御します。


ユーザは、ポリシー設定を表示することはできますが、設定を変更することはできません。設定を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探して [ポリシー] をクリックします。
- 3 [カテゴリ] リストで、[一般]、[リモートコントロール、リモートビュー]、[リモート実行]、[ファイル転送]、[リモート診断]、または [セキュリティ] から表示するポリシーのカテゴリを選択します。

6.5 セキュリティ設定の使用

リモート管理セキュリティ設定を使用すると、デバイスでリモート操作を実行したり、侵入者が検出されたために一時中断されていた操作を再度有効にしたり、デバイスで実行されたリモート管理操作に関する情報を表示したり、リモート操作に使用された自己署名付きの証明書に関する情報を表示したりするために必要なパスワードを制御できます。

セキュリティ設定は管理者によって制御され、使用できない場合があります。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[リモート管理] 見出しを探し、[セキュリティ] をクリックします。
- 3 使用するセキュリティ設定をクリックします。

パスワードの設定: パスワードを設定できるのは、[ユーザに管理対象デバイスでのパスワード設定を許可] オプションが管理対象デバイスで有効にされている場合だけです。パスワードは2種類あります。

- **ZENworks® パスワード:** このパスワードは、ZENworks パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 255 文字です。
- **VNC のパスワード:** このパスワードは、VNC パスワードベース認証で使用されます。パスワードの長さは最大 8 文字です。

VNC パスワードベース認証より安全であるため、ZENworks パスワード認証が推奨されます。VNC パスワードベース認証は、オープンソース VNC ビューアとの相互運用性のために使用します。

パスワードのクリア: 選択したパスワードをクリアします。

侵入者検出によって現在ブロックされている場合は、接続の受諾を許可します: リモートオペレータのログインの試みが一定回数 (デフォルトでは 5 回) 失敗した場合、リモート接続は無効になります。一定の時間 (デフォルトでは 10 分) が経過すると接続は自動的に許可されますが、このオプションをクリックして、手動で接続を有効にすることができます。

監査情報の表示: デバイスで実行されたリモート操作に関する次の情報を表示します。

フィールド	説明
ZENworks ユーザ	リモート操作が実行されたときに、ログインしていた ZENworks ユーザの名前です。
リモートオペレータ	操作を実行したリモートオペレータの名前です。
コンソールマシン	リモート操作の実行元デバイスの名前です。
コンソール IP	リモート操作の実行元デバイスの IP アドレスです。
操作	実行された操作のタイプ (リモートコントロール、リモート実行、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、またはセキュリティ) です。
開始時刻	リモート操作の開始時刻です。
終了時刻	リモート操作の終了時刻です。
ステータス	リモート操作のステータス (成功、実行中、または失敗) です。

指紋の表示 : デバイスの自己署名付き証明書の指紋を表示します。デバイスでリモート操作を実行する前に、デバイスの資格情報を検証するために、リモートオペレータから指紋を求められることがあります。

デバイスでタスクを実行中に、ZENworks® Adaptive Agent によってメッセージが生成され、アクティビティが追跡されます。各メッセージには、情報、警告、エラー、またはデバッグという重要度レベルが割り当てられます。


詳細情報については、次を参照してください。

- 29 ページのセクション 7.1 「メッセージログレベルの変更」
- 30 ページのセクション 7.2 「メッセージログファイルのクリア」
- 30 ページのセクション 7.3 「メッセージログファイルの表示」
- 31 ページのセクション 7.4 「バックアップログファイルのアクセス」

7.1 メッセージログレベルの変更

デフォルトでは、ZENworks 管理者が、ローカルメッセージログファイルに保存されるメッセージのタイプを制御します。管理者がデバイスに関する ZENworks® Adaptive Agent の問題をトラブルシューティングする必要がある場合は、管理者から、追加情報をログできるようにログレベルの設定を変更するように指示されることがあります。指示がなければ、ログレベルを変更する必要はほとんどありません。


ログレベルを変更するには、次の手順に従います。

- 1 システムトレイにある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで [ロギング] をクリックします。
- 3 [適用対象のログレベル] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **グローバル設定の使用** : [グローバルログレベル] フィールドに表示されるメッセージログレベルを使用します。
 - **エラー** : エラーメッセージのみをログします。エラーメッセージは、Adaptive Agent が要求されたタスクを実行できない場合に生成されます。
 - **エラー、警告** : エラーメッセージと警告メッセージをログします。警告メッセージは、タスクが失敗する可能性のある問題が Adaptive Agent で発生した場合に生成されます。
 - **エラー、警告、情報** : エラーメッセージ、警告メッセージ、および情報メッセージをログします。情報メッセージは、通常のプロセスが実行中であることを示すために Adaptive Agent がタスクを実行する場合常に生成されます。
 - **エラー、警告、情報、デバッグ** : 使用可能メッセージをすべてログして、問題のデバッグ追跡を有効にします。このレベルを選択すると、ログファイルのサイズが大きく増えるため、管理者の指示があった場合にのみ使用するようしてください。
- 4 [適用] をクリックして、新しい重要度レベルを適用します。

7.2 メッセージログファイルのクリア

ZENworks 管理者によるログファイルのバックアップオプションの設定方法によっては、メッセージログが非常に大きくなることがあります。現在のログファイルからすべてのメッセージをクリアすると、ディスクスペースが解放されたり、新しいメッセージを容易に表示させることができます。


ログを消去するには、次の手順に従います。

- 1 システムトレイにある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで [ロギング] をクリックします。
- 3 [ログを消去] をクリックします。

7.3 メッセージログファイルの表示

ローカルログファイルである zmd-messages.log がシステムドライブの root の program files\novell\zenworks\logs\localstore ディレクトリに保存されます (たとえば c:\program files\novell\zenworks\logs\localstore\zmd-messages.log など)。

ログファイルを表示するには、次の手順に従います。

- 1 システムトレイにある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで [ロギング] をクリックします。
- 3 [ログを表示] をクリックします。


ファイル内の各エントリには、複数のフィールドがあります。各フィールドは、[and ends with] で始まります。たとえば、[ERROR] などです。次の表は、各フィールドについて説明しています。

フィールド番号	例	説明
1	エラー	重要度レベル。発生し得る値は、ERROR、WARNING、INFORMATION、および DEBUG です。
2	3/14/2007 4:21:35 PM	メッセージが生成された日付と時刻。
3	JSmith	ユーザ。
4	PolicyManager	メッセージを生成した Adaptive Agent モジュール。
5	launcher 設定ポリシー	メッセージに割り当てられた ID。
6	PolicyModule: イベントの登録。	メッセージ。
7		追加情報。通常は空です。
8	workstation1	メッセージに関連のあるオブジェクト。

7.4 バックアップログファイルのアクセス

バックアップログファイルは、現在のメッセージログファイルと同じディレクトリに保存されます。バックアップファイルは、ファイルごとに増分する ZIP ファイルです (たとえば、zmd-messages.log.1.zip、zmd-messages.log.2.zip)。

バックアップログファイルにアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 システムトレイにある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで [ロギング] をクリックします。
- 3 [ログフォルダを開く] をクリックします。

サテライトの役割

サテライトの役割を持つ Windows デバイスまたは Linux デバイスは、ZENworks® プライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行できます。管理対象の Windows デバイス (サーバまたはワークステーション) は、サテライトの役割を実行できます。管理されていない Linux デバイス (サーバまたはワークステーション) はサテライトの役割を実行できません。管理者がデバイスを構成する場合、管理者はデバイスで実行される役割を指定します。サテライトの役割で、ZENworks システムの WAN トラフィックを最小化できます。

サテライトの役割は次のとおりです。

- ◆ **認証**：認証の役割を使用して、デバイスを認証サーバとして使用し、ワークロードをデバイス間に分散させ、管理対象デバイス上でローカルに認証を実行することで、認証プロセスを高速化できます。
- ◆ **コレクション**：デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化するには、ZENworks 管理者はデバイスのコレクションの役割を有効にし、デバイスが収集ポイントかどうかを指定できます。
- ◆ **コンテンツ**：ZENworks Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks サーバまたはその他のデバイスからの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。
- ◆ **イメージング**：イメージングの役割は、イメージングサービスをインストールし、そのイメージングの役割をデバイスに追加します。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

詳細情報については、次を参照してください。


- ◆ [33 ページのセクション 8.1 「一般的なサテライトの役割情報」](#)
- ◆ [34 ページのセクション 8.2 「認証」](#)
- ◆ [35 ページのセクション 8.3 「イメージング」](#)
- ◆ [35 ページのセクション 8.4 「コレクション」](#)
- ◆ [36 ページのセクション 8.5 「コンテンツ」](#)

8.1 一般的なサテライトの役割情報

現在のステータス、ポート、コンテンツレプリケーションスケジュール、および役割のステータスなど、デバイスの一般プロパティを表示できます。

ZENworks 管理者がこのデバイスでサテライトの役割が実行されるよう指定した場合、このページの情報によりデバイスの一般情報を表示できますが、このページのフィールドは編集できません。

一般的なサテライトの役割情報を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。

- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[一般] をクリックします。


フィールド	説明
現在のステータス	デバイスが現在、サテライトの役割を実行するように環境設定されているかどうかを表示します。
ポート	デバイスが使用中のポートを表示します。
SSL ポート	デバイスが認証役割を実行する場合は、認証に使用される SSL ポートを表示します。
サテライトの役割ステータス	デバイスが実行している役割 (コレクション、コンテンツ、イメージング、認証) と、その現在のステータスを表示します。
コンテンツの複製の詳細	<p>コンテンツタイプ、デバイスがコンテンツ複製に使用するスロットレート (kb/秒)、デバイスのコンテンツが親プライマリサーバから更新される頻度、複製期間を表示します。システム管理者は、この設定を変更できます。</p> <p>たとえば、デフォルトではコンテンツ役割デバイスは、新しいコンテンツまたは削除されたコンテンツがないか 5 分ごとに確認します。ZENworks 管理者はこのスケジュールを変更できます。たとえば、ZENworks システムがコンテンツをシステムにあまり頻繁に追加しないか、またはコンテンツ役割デバイスと、親のプライマリサーバ間の接続に時間がかかる場合、管理者はサイクル間の時間を長くすることもできます。</p>

8.2 認証

現在のステータスや現在認証に使用されている SSL ポートなど、デバイスの認証の役割プロパティを表示できますが、このページではフィールドを編集できません。

ZENworks® Configuration Management では、ZENworks 管理者はデバイス上の認証の役割を有効にできます。この役割を使用して、デバイスを認証サーバとして使用し、ワークロードをデバイス間に分散させ、管理対象デバイス上でローカルに認証を実行することで、認証プロセスを高速化できます。

認証の役割情報を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[認証] をクリックします。


フィールド	説明
現在のステータス	デバイスが現在、認証操作を実行するように環境設定されているかどうかを表示します。デバイスが認証の役割を持つサテライトに昇格される場合、現在のステータスはアクティブです。
SSL ポート	認証のためにデバイスで使用している SSL ポートを指定します。

8.3 イメージング

現在のステータス、PXE サービスステータス、イメージファイル、およびイメージング統計など、デバイスのイメージングの役割プロパティを表示できます。ただし、このページのフィールドは編集できません。

ZENworks® Configuration Management では、ZENworks 管理者はデバイスのイメージングの役割を有効にできます。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。管理者が、デバイスにイメージングの役割があるかどうかを制御します。

イメージングの役割情報を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[イメージング] をクリックします。

フィールド	説明
現在のステータス	デバイスが現在、イメージング操作を実行するように環境設定されているかどうかを表示します。デバイスがイメージングの役割を持つサテライトに昇格される場合、現在のステータスはアクティブです。
PXE サービスステータス	プロキシ DHCP サービスがデバイスで有効になっているかどうかを表示します。
イメージファイルの表示	%ZENWORKS_HOME%\work\content-repo\images ディレクトリに保存されているイメージファイルを表示します。
イメージング統計	次の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none">◆ PXE 要求：イメージングサーバが前回起動されてからイメージングサーバが受信した各種イメージング要求の数。これには、失敗した要求、拒否された要求、および他のイメージングサーバを参照した要求の数も含まれています。ソース、タイプ、日時、結果などの各要求に関する情報は、イメージングサーバにログされます。◆ 送信したイメージ：イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバがイメージングクライアントに送信したイメージの数。この数に含まれるのは、このイメージングサーバから取得されたイメージのみです。◆ 受信したイメージ：イメージングサーバが前回起動されてから、イメージングサーバが受信して、保存した新しいイメージの数。これには、クライアント参照を通じて受信されたイメージが含まれます。

8.4 コレクション

現在のステータス、親の URL、およびコレクションスケジュールなど、デバイスのコレクションの役割プロパティを表示できますが、このページのフィールドを編集できません。

ZENworks® Configuration Management では、ZENworks 管理者はデバイス上のコレクションの役割を有効にできます。これにより、デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングしている ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化できます。ロールアップされる情報には、デバイスインベントリ情報、メッセージ (エラー、警告、情報など)、およびポリシーとバンドルステータスが含まれます。デバイスが収集ポイントかどうかは管理者が制御します。

コレクションの役割情報を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コレクション] をクリックします。

フィールド	説明
現在のステータス	収集ポイントとして機能するようにデバイスが現在環境設定されているかどうか表示します。
親の URL	このデバイスの親の ZENworks サーバの URL を表示します。
コレクションスケジュー ル	収集したデータをコレクションデバイスとして使用するデバイスから、そのデータをロールアップする頻度を表示します。ZENworks 管理者はこのコレクションスケジュールを変更できます。
アップロード待機中の ファイル	アップロードを待機中のファイルを表示し、送信元、タイプ、ファイル名を指定します。
このサテライトコレク ションポイントにアップ ロードしているクライア ント	このデバイスにファイルをアップロードできるクライアントを一覧表示します。

8.5 コンテンツ

ZENworks® Configuration Management は、配布元として指定された ZENworks サーバまたはその他のデバイスからの、バンドルおよびポリシーの配布をサポートします。デバイスが配布元かどうかは管理者が制御します。

8.5.1 配布元情報の表示

デバイスが配布元として使用される場合は、アクセスされた回数およびデバイスに保存されているコンテンツ (バンドルおよびポリシー) についての統計情報を表示できます。

- 1 通知領域にある **Z** アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[配布元] をクリックします。


フィールド	説明
現在のステータス	配布元モジュールのステータス。停止ステータスが表示されている場合、デバイスは現在、配布元として使用できません。
ポート	デバイスにより配布ポイント機能の実行に使用されるポート
リポジトリサイズ	リポジトリで使用されるディスク容量。

フィールド	説明
同期ステータス	同期されたファイルの数と割合。
固有のデバイスアクセス	デバイスのリポジトリからコンテンツにアクセスした異なるデバイスの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてからの一意なアクセス数の合計を表します。
サブされるファイル数	他のデバイスに配信されたバンドルおよびポリシーファイルの数。この数は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの数を 0 にリセットしてから転送されたファイル数の合計を表します。
サブされるファイル数	他のデバイスに配信されたデータの合計量。この量は、前回 [履歴のクリア] オプションでこの量を 0 にリセットしてから転送されたファイル数の合計を表します。
エラー数	ファイル転送中に発生したエラーの合計数。[エクスポート履歴] オプションをクリックすると、トランザクションをカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートして、エラーを調査するのに使用できます。
アクション	[エクスポート履歴] をクリックすると、[最近のアクセス履歴] リストの情報を CSV ファイルにエクスポートできます。[履歴のクリア] をクリックすると、リストの情報をクリアし、[固有のデバイスアクセス]、[転送されたファイルの数]、[転送されたデータ量]、および [エラー数] のフィールドを 0 にリセットできます。
最近のアクセス履歴	最後にリポジトリにアクセスした 10 個のデバイスのリスト。リストでは、最後にアクセスされた 10 個のみが表示されます。ただし、履歴を消去するまでは、エントリはすべて保存されています。エントリすべてを分析するには、[エクスポート履歴] をクリックして、CSV ファイルを作成します。
コンテンツリポジトリ詳細	リポジトリに保存されたバンドルおよびポリシーのリスト。

8.5.2 最近のアクセス履歴のエクスポート

[最近のアクセス履歴] には、最も最近リポジトリにアクセスした 10 個についての情報が表示されます。これには、アクセスを実行した **デバイス**、ダウンロードの実行数、転送されたデータ量、およびエラーが発生したかどうかについての情報が含まれます。

リストでは、最後にアクセスされた 10 個のみが表示されます。ただし、履歴を消去するまでは、エントリはすべて保存されています。エントリすべてを分析する場合は、履歴をカンマ区切り値 (CSV) ファイルにエクスポートできます。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コンテンツ] をクリックします。
- 3 [エクスポート履歴] をクリックして、CSV ファイルの場所と名前を指定してから、[保存] をクリックします。
- 4 履歴ファイルを表示するには、テキストエディタで開きます。

履歴ファイルには、配布元アクセス履歴および配布元エラー履歴という 2 つのセクションがあります。

配布元アクセス履歴: [最近のアクセス履歴] リスト内の各トランザクションについてのエントリがあります。各エントリは、次のような形式です。

IP Address,DNS Name,Number of Files Transferred,Bytes Transferred,Number of Errors,Last Access (UTC)

たとえば次のように行います。

123.45.167.52,wks1.novell.com,3,544,0,3/20/2007 7:16:59 PM

配布元エラー履歴: エラーを含む各トランザクションについてのエントリがあります。各エントリは、次のような形式です。


IP Address,DNS Name,Requested URI,Status Code,Access Time (UTC)

たとえば次のように行います。

123.45.167.53,wks2.novell.com,/app.msi,404,3/22/2007 9:11:33 AM

8.5.3 最近のアクセス履歴の消去

[最近のアクセス履歴] を消去して、リストのエントリすべてを削除し、[固有のデバイスアクセス]、[転送されたファイルの数]、[転送されたデータ量]、および [エラー数] のフィールドを 0 にリセットできます。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインの、[サテライト] から、[コンテンツ] をクリックします。
- 3 [履歴のクリアをクリックしてから、[はい] をクリックして、履歴の削除を確認します。

ZENworks® Adaptive Agent は、デバイスが Zenworks プライマリサーバの Windows プロキシとして機能するときに、検出および展開動作をデバイスがどのように実行するか、情報を提供します。

注：このページは、Windows デバイスが管理対象である場合のみ表示されます。

詳細情報については、次を参照してください。


- ◆ [39 ページのセクション 9.1 「検出結果の表示」](#)
- ◆ [40 ページのセクション 9.2 「展開結果の表示」](#)

9.1 検出結果の表示

デバイスが ZENworks プライマリサーバの Windows プロキシとして機能するときに、デバイスで実行した検出動作の結果を表示できます。デバイスは次のサーバの Windows プロキシとして動作できます。

- ◆ WMI、WinAPI、SNMP など、Windows 固有のテクノロジーを使用してディスクバリタスクを実行できない、Linux プライマリサーバ。
- ◆ 検出するデバイスがプライマリサーバとは別のサブネットにある場合の Windows プライマリサーバ。

検出結果を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[検出] をクリックします。
[ディスクバリ結果] パネルに次の詳細が表示されます。

フィールド	説明
検出タスク	ZENworks 管理者が作成した検出タスク名を表示します。
検出ターゲット	ターゲットデバイスのホスト名または IP アドレスを表示します。
検出技術	検出プロセスで使用するそれぞれの検出技術 (WMI、WinAPI、SNMP) の名前をステータスを表示します。 各検出技術の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、リタイア リファレンス』の「IP 検出技術」を参照してください。
最終のタイムスタンプ	検出タスクが実行された日付と時刻を表示します。


- 3 (オプション) [ディスクバリ結果] パネルからすべての検出結果を削除するには、[ディスクバリ結果を消去] をクリックしてから、ページを更新します。

9.2 展開結果の表示

デバイスが ZENworks プライマリサーバの Windows プロキシとして機能するとき、デバイスで実行した展開動作の結果を表示できます。デバイスは次のサーバの Windows プロキシとして動作できます。

- ◆ ZENworks Adaptive Agent の Windows ターゲットデバイスへの展開を実行できない Linux プライマリサーバ。
- ◆ 展開するデバイスがプライマリサーバとは別のサブネットにある場合の Windows プライマリサーバ。

展開結果を表示するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域にある  アイコンをダブルクリックします。
- 2 左のナビゲーションペインで、[展開] をクリックします。
[展開結果] パネルに次の詳細が表示されます。

フィールド	説明
展開タスク	ZENworks 管理者が作成した展開タスク名を表示します。
展開ターゲット	ターゲットデバイスの名前または IP アドレスを表示します。
展開ステータス	展開タスクのステータスを表示します。
最終のタイムスタンプ	展開タスクが実行された日付と時刻を表示します。

- 3 (オプション) [展開結果] パネルからすべての展開結果を削除するには、[展開結果を消去] をクリックしてから、ページを更新します。

ZENworks® Adaptive Agent ヘルプでは、次の用語を使用しています。

認証の役割：管理対象デバイスが実行し、ワークロードをデバイス間で分散させ、管理対象デバイス上でローカルに認証を実行することで認証プロセスを高速化できる役割。

バンドル：デバイスにソフトウェアをインストールするのに必要なコンテンツおよび指示。

コレクションの役割：管理対象のデバイスが、デバイスのグループ用に情報のロールアップアクセスを向上させ、ZENworks データベースをホスティングする ZENworks プライマリサーバまでトラフィックを最小化するために実行できる役割。

コンテンツの役割：管理対象のデバイスが、ZENworks サーバ、または配布元として指定されている他のデバイスから、バンドルとポリシーの配布を支援できるようにする役割。

デバイス：サーバまたはワークステーション。

デバイス割り当てバンドルまたはデバイス割り当てポリシー：デバイスのすべてのユーザが使用できる、デバイスに割り当てられたバンドルおよびポリシー。

配布元：バンドルおよびポリシーを他のデバイスに配信するために指定されたデバイス。

イメージングの役割：イメージングサービスをインストールし、イメージングの役割を管理対象のデバイスに追加する役割。この役割では、このデバイスをイメージングサーバとして使用して、イメージを取得し、ユニキャストまたはマルチキャストのイメージングの使用によりサブネット内またはサブネット間でイメージを適用するなど、すべてのイメージングオペレーションを実行できます。

インベントリ：デバイスのハードウェアとソフトウェアについてのデータ。

管理ゾーン：同じ管理ドメインに属しているデバイスのグループ化。

ポリシー：ハードウェアとソフトウェアの環境設定範囲を制御するルール。

プライマリユーザ：マシンを最も頻繁に使用するユーザ。頻度は、ログインの数、ログインしている時間数、または指定されているユーザによって決定されます。プライマリユーザの計算に使用する方法は管理者が決定します。

登録キー：管理者によって作成され、デバイスを管理ゾーンに登録するために ZENworks Adaptive Agent によって使用される英数文字列。

リモート管理：デバイスの問題を解決するために、リモートでデバイスにアクセスまたは制御する機能。使用可能なリモート管理操作は、リモートコントロール、リモートビュー、リモート診断、ファイル転送、およびリモート実行です。


サテライト：サテライトの役割のあるデバイスは、ZENworks プライマリサーバで通常は実行される特定の役割を実行できます。任意の管理された Windows デバイス (サーバまたはワークステーション) または管理されていない Linux デバイス (サーバまたはワークステーション) は、サテライトの役割を実行できます。管理者がデバイスを構成する場

合、管理者はデバイスで実行される役割を指定します。サテライトで、ZENworks システムの WAN トラフィックを最小化できます。サテライトの役割には、コレクション、コンテンツ、およびイメージングがあります。

リモートオペレータ: リモートでデバイスにアクセスまたは制御するユーザ。

ユーザ割り当てバンドルまたはユーザ割り当てポリシー: ユーザに割り当てられたバンドルおよびポリシー。割り当てられたユーザがログインした場合にのみ使用可能です。

ZENworks Explorer: Windows エクスプローラ、デスクトップ、[スタート] メニュー、[クイック起動] ツールバー、および通知領域におけるバンドルの表示を可能とする Windows* エクスプローラ用の拡張機能。

ZENworks Icon:  アイコンは、Windows 通知領域にあります。アイコンをダブルクリックすると、ZENworks Adaptive Agent のプロパティを表示できます。

ZENworks Window: [スタート] メニューから起動できるスタンドアロンウィンドウです ([スタート] メニュー > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Application Window])。Zenworks Window には、割り当てられたバンドルすべてが表示されます。

ZENworks サーバ: 管理ゾーンからの情報を送受信するために、ZENworks Adaptive Agent が接続するサーバ。